コロナ禍を理由に労働者の生活を破壊するな

新型コロナ感染拡大に伴い、政府の非常事態宣言や東京都による外出・企業活動への自粛要請などにより、企業の事業所閉鎖や労働者の解雇・雇い止め、賃金減額や未払いなど深刻な影響が広がりつつあります。

東京地評の各組織にも多くの労働者から切実な内容の労働相談が相次いでいます。その中で、労働組合に加盟して解雇や賃金切り下げを許さず、その解決にむけて立ち上がった労働者も数多く生まれています。今回は、新型コロナのもとで始まった2つの争議を紹介します。

東京労働局前で訴える全国一般・東京美々卯分会の仲間（6/15）

うどんすき・東京美々卯が「コロナ便乗解雇」

全労連・全国一般東京地本

うどんすきの名店・東京美々卯が5月20日東京地域の6店全店閉鎖と会社解散を強行、約150人の労働者が雇用を奪われました。

東京美々卯は、親会社・大阪美々卯のホームページで「経営は健全」と誇っている通り8億円余りの資産を有しており、債務超過の倒産ではありません。親会社がコロナ禍に便乗したのではないかと、マスコミでも話題になっています。

「緊急事態宣言解除を目前に突然の閉鎖。納得いきません」と池袋店長の昆野さん。渋谷店長・石嶋さんは「一緒に苦労してくれたパートさんや学生アルバイトの仲間を路頭に放り出すことになって申し訳ない」と悔しさをにじませます。

1995年、板前を中心に結成した全国一般東京地本美々卯分会は、「事前協議合意協定」を交わし店舗閉鎖撤回や社員寮の確保など様々な成果を上げ労働者の砦となってきました。

雇用継続と営業再開を求めて都労委と地位確認裁判を構え、大阪と東京美々卯に迫っています。

労働者や取引先・顧客を切り捨てるやり方を認めるわけにはいかない、と京橋地域住民や常連、築地や豊洲の仕入先と協力して、東京美々卯再開を求める署名をスタートさせています。

「東京美々卯再開」署名の協力は全国一般東京☎03―6661―2773まで。

結成大会後組合員らで集合写真（6/29）

新宿一般労組ホテル小田急分会、34名で結成

5月28日、西新宿にあるセンチュリーハイアットで働く配ぜん人4名から、新型コロナウイルスの影響でホテルのイベントがなくなり、シフトが白紙になって休業手当が支給されないという相談がありました。

労働者は5年から30年間、この職場で働きながら、「日々雇用」という雇用形態で、時給1600円前後で働いていました。

ホテルは休業していないことを理由に休業手当を出さず、「日々雇用者には解雇の概念がない」という文書を渡し、何の保障もせずに、自主退職を迫りました。

またホテルは、生活に行きづまった労働者に対し、「自己都合」でなければ離職を受け付けないとし、白紙のままの離職票にサインをするよう強制しました。

東京法律事務所の弁護士らと相談会を重ね、3回目には30名が結集。労働組合を全く知らなかった労働者たちが労働組合について学び、団体交渉での解決をめざして、新宿一般労組に加入し、分会を結成することになりました。

6月29日、全国教育文化会館の会議室で結成大会を行い、ホテルの配ぜん人の7割以上を組織する34名の分会が誕生しました。

組合の要求は、休業手当の100％保障と、自主退職した労働者の意思を尊重した問題の解決。そして、大きな問題として日々雇用の無期転換権への道です。

大会終了後、全員でホテルに行き、組合結成通知と団交申し入れ、要求書の提出を行いました。

未組織の組織化ターミナル宣伝

北部B　後楽園での宣伝（6/18）

コロナ感染拡大防止のために延期していた「未組織の組織化ターミナル宣伝」を6月に実施しました。

南部は6月8日（月）18時～蒲田駅、4組織14人でチラシ入りテッシュ300個を配布。三多摩は立川駅で6月14日（日）12時～20人が集まり実施。北部は、6月16日（火）18時～後楽園駅で行い、5地域13人が参加し300枚を配布。西部では、6月23日（火）18時～代々木駅で15人が参加して宣伝しました。

「正社員、パート、派遣、フリーランスも　ストップ！新型コロナ感染　守ろう！　いのち、雇用、くらし―労働組合に相談・加入を」の横断幕を広げてマイクでアピール。「休業手当が支払われない、雇止めされた等々一人で悩まず、組合に相談を」「雇用調整助成金や持続化給付金等を事業者に申請させて、雇用確保を」等の訴えに、パンフレットの受け取りも上々でした。

東部は、7月13日（月）18時～錦糸町駅で実施予定。

今後、解雇等も増えることが予想されます。労働者に寄り添った宣伝や相談を旺盛に展開しましょう。

公務部会が、公務員賃金引き上げで内閣府要請

要請書を手渡す植松部会長（右　6/25）

コロナ禍で民間調査も遅れている中、公務・公共サービスの向上や公務労働者の労働条件の向上を目指して、内閣府に対しての要請行動を6月25日に実施しました。冒頭、植松隆行部会長が挨拶し、①最賃を下回る給与体系の是正、②非正規労働者の雇用の安定と均等待遇、期間制限の撤廃、③定年延長の即時実施と再任用職員賃金の引上げ、④人員増等を要請。

回答は、賃金は人事院勧告が基本。非正規労働者の待遇は、この間様々な施策を講じている。期間制限は「任用の原則」がある。定年延長の基本は変わらない。再提出は検討。人員増は、厳しい財政管理の中、体制構築している等でした。

最賃を下回る賃金はおかしいことを発信してほしい。非正規が増えているのは定員に問題がある。人員増を図るとともに、雇用の安定措置を。定年延長と再任用の賃金引き上げはセットにし、格差是正をと再度要請し終了しました。

東京医労連第86回大会

7月12日、日本教育会館で開催。委員長に嘉瀬秀治さん、書記長に青山光さん。

CU東京第12回大会

7月12日、ラパスホールで開催。委員長に佐藤義見さん、書記長に高木典男さん。

東京ジャックプレ企画開催のお知らせ

東京ジャック実行委員会は、今年11月8日に都内駅頭で「解雇・雇止めを許さない」、「人間らしく暮らせる補償を」、「自分ひとりのせいじゃない」をメインテーマに、「労働組合に入ろう」と呼びかける宣伝行動・東京ジャックを開催します。プレ企画は8月30日に開催しますので、ぜひ青年組合員の方への呼びかけにご協力ください。

学習の友　2020年 8月号

特集　主権者として生きる―日本社会と民衆のたたかい
職場社会の激変と労働運動　兵頭淳史
農村社会の変貌と現在―農民の苦悩と運動　笹渡義夫
住民のたたかいでひろがる脱原発の運動　小松公生
「保守 対 革新」から「オール沖縄」へ　中村　司
戦後社会を生きぬく女性たちの要求と運動　石月静恵
戦後知識人平和運動―平和問題談話会と九条の会　広川禎秀
連載第3回 性の多様性とセクシュアルマイノリティ　青龍美和子

労働者教育協会 編　定価 510円（消費税10％含む）
お申し込みは　学習の友社　TEL03-5842-5641　tomo@gakusyu.gr.jp

8・30東京ジャックプレ企画
学習会＆ビアガーデン

東京地評青年協が中心となって行う「東京ジャック」のプレ企画を以下の日程で行います。前段で学習会、終了後はビアガーデンでの交流を予定しています。

★日時：8月30日（日）13時30分～
★場所：学習会：ラパスホール
　　交流会：池袋パルコ屋上ビアガーデン
★主催：東京ジャック実行委員会